平成30年度 事務事業マネジメントシート			事務事業No.		3-	1
事業名			会計	款	項	目
ず 未4	事未有			2	1	3
	6 語らいのあるまち		課名	財政課		
施策	施 策 6-4 行財政運営の充実したまちをつくる					
6-4-2 町民サービスの向上						
主要施策	①健全な財政基盤の確保 ②効果的		り・効率的	的な財政	運営の推	進
土安旭尔						

① 事務事業の目的・内容

事業 目的	対象	住民		少子化及び高齢化の進展から、税収の伸び悩みや歳出の内の義務的経費の増加により財政は硬直化することが見込まれる。町民が安心して住み続けられるような町政運営を行える、持続可能な健全財政を図る。
事業		て事業の有効性や優先順位 業の内容、統一的な基準に	を精査し、より効果的 よる財務書類を公表す	られた財源を有効に活用するために、予算編成におい 的・効率的な予算計上に取り組む。また、財政状況、事 することで予算の透明性を図る。また、行政課題におけ 的な検討についての取り組みを行い、財政健全化を図

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

			指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年	(目標)
		1	経常収支比率	89.9	87. 1	未	%	\downarrow		80
指標	6	2								
1日/污	L,	3								
		4								
		5								
					平成29年月	度(決算)	平成30年月	度(決算)	平成31年月	度(予算)
	1	全位	本事業費(千円)A+F	}		14, 832		14, 569		18,005
財源			直接事業費A			6, 252		1, 765		1,835
内訳			うち一般見	 財源		6, 252		1, 765		1,835
			人件費(千円)B			8,580		12,804		16, 170
内訳			敞員(人・千円)		1.30	8, 580	1.94	12,804	2.45	16, 170
アリ司人	臨	時耶	職員(人・千円)	•		0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
個別評価		町関与の必要性 AB	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性 C対象が広すぎる	
			A門が担り、Ce	—	コストの削減	C削減の余地が大きい
総合評価 II 継 続(事業を現状どおり継続すべき)						

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年 度の改善 計画		③取組の課 題	補助金等の見直しにあたっては、公 共施設の使用料と合わせて、適切な 見直しを行う必要がある。
②H30年 度に実施 した取り 組み	行政課題におけるプロジェクトチームを設置 し、補助金等の見直しについて研究し、補助金 等交付基準を提示した。	④今後の改 善計画	補助金等の見直しを進める中で、自 治会などの地域の役割を考慮する必 要があり、行政と対等な役割のも と、地域が主体的な活動ができるよ う、財政負担の仕組みを検討する。